

第11号議案

「日本ダンス医科学研究会第10回学術大会」の後援名義使用承認について

上記の議案を提出する。

平成30年3月27日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 南 新平

別記様式第1号 (第6条関係)

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

2018年2月6日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体)

日本ダンス医科学研究会

住所 (所在地)

東京都文京区大塚2-1-1お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科 水村研究室内

代表者名

(ふりがな) みずむら まゆみ
水村 真由美

代表者連絡先
(事務担当者)

03-5978-5264 (水村直通)
mizumura.mayumi@ocha.ac.jp (ご連絡はなるべくメールにてお願い致します)

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 後援名義を使用したく、申請します。

記

事業名	日本ダンス医科学研究会第10回学術大会	
実施期間	2019年3月23日(土) から 2019年3月24日(日) まで (2日間)	
実施場所	文京シビックセンター (小ホール、多目的室、練習室1) <small>3/24(日) 3/23(土) 3/23(土)</small>	
事業内容	目的※	ダンスは、幼児教育においては身体表現、小学校では表現活動、また中学校では体育教科での必修化されたダンスとして、広く実施される運動である。教育におけるダンスの実践が安全かつ効果的であるための医科学研究を紹介すると共にその活動を活性化することを目的として開催
	内容	有識者による講演および実技ワークショップ
	対象者	研究者、教員、医療従事者、ダンサー、ダンス愛好者など (参加予定人員200人)
	参加費	一般 5000円、 学生3000円
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)	NPO法人芸術家のくすり箱 (申請中)	
備考		
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに 同意する		

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

事業予算書

事業名 第10回学術大会

団体名 日本ダンス医科学研究会

収 入		単位：円	支 出		単位：円
参加費収入			大会準備経費		
一般	5000	500000	人件費	70000	
(100名)			印刷費	130000	
学生	3000	300000	通信費	50000	
(100名)			消耗品	30000	
広告協賛費			会議運営費		
(5社)		200000	会場費	250000	
学会助成金		100000	謝金	70000	
			講師謝礼	200000	
			交通費	100000	
			印刷費	50000	
			設備費	50000	
			消耗品費	50000	
			雑費	50000	
計		1100000	計		1100000

2018年 2月6日

(備 考)

第10回日本ダンス医科学研究会学術大会

1. 研究会の日程表 (案)

開催日	3月23日(土)午後	3月24日(日)午後	3月24日(日)午後
予定プログラム	指導者・ダンス愛好者・ダンサー向け講義 医療従事者向け実技ワークショップ	基調講演 ミニレクチャー 一般演題(口演)	ポスター発表 教育講演 シンポジウム (ダンスパフォーマンス)

(多目的室(練習室))

(ホール)

2. 研究会のテーマ : 日本におけるダンス医科学の次の10年を考える
3. 参加予定人数 : 会費参加者 200名 ダンサー等招聘者 15名
4. 開催予算書(別紙のとおり)
5. 役員名簿

日本ダンス医科学研究会

代表理事：水村真由美 (お茶の水女子大学)

理事： 浦辺幸夫 (広島大学)

平石英一 (永寿総合病院) (第10回学術大会大会長)

福井勉 (文京学院大学)

北條達也 (同志社大学)

糟谷里美 (昭和音楽大学)

蘆田ひろみ (有馬医院)

佐藤菜穂子 (名古屋学院大学)

世話人： 安達悦子 (東京シティバレエ団、洗足学園音楽大学)

生駒和也 (京都府立医科大学)

大竹祐子 (文京学院大学)

勝川史憲 (慶応大学)

杉本亮子 (昭和音楽大学 (非))

瀬尾理利子 (横浜市立スポーツ医科学センター (非))

中村千秋 (早稲田大学)

中村雅俊 (新潟福祉医療大学)

鍋田友理子 (元 NY 大学付属病院ハークネスセンター)

三浦哲都 (東京大学)

村田芳子 (平成国際大学、筑波大学名誉教授)

日本ダンス医科学研究会 会則

第1章 総則

第1条 名称 本会は、「日本ダンス医科学研究会」と称する。以下本会という。

第2章 目的および事業

第2条 目的

本会の目的は主に以下の5つとする

- 1、 日本における教育、医学、科学の粋を統合することにより、日本人ダンサーの健康、QOL、トレーニング、パフォーマンスの向上をめざす
- 2、 学問的興味からダンス医科学を志向する人たちが知的交流を行う場を提供する
- 3、 教育、医学、科学を中心とした研究領域において、ダンサーを対象とした研究活動の活性化を促す
- 4、 ダンス医科学の研究成果が現場で応用されるために不可欠な研究と現場の交流を促進し、両者の密接かつ良好な関係構築をめざす
- 5、 舞台芸術から健康づくり運動まで、ダンスの可能性および有効性を支持するための活動に貢献する

第3条 事業 本会は、上記の目的を達成するため、以下の事業を行う。

- (1) 研究会の開催
- (2) 会員相互の情報交換
- (3) その他本会目的達成のために必要な事業

第3章 会員および役員

第4条 会員

本会の会員は、本会の目的に賛同する医師、医療従事者、アスレチックトレーナー、身体運動科学系研究者、ダンス指導者、コンディショニング指導者、ダンサーなどとする。

なお会員申請は、世話人1名の推薦を得て行うこととする。なお会員の除籍は、世話人会により決定することができる。また3年間会費が未納だった場合には、除籍とする。

第5条 役員 本会は次の役員を置く

- (1) 代表理事

- (2) 理事
- (3) 顧問
- (4) 世話人
- (5) 監事

第6条 役員を選出

- (1) 代表理事および理事は、世話人会が選出する。
- (2) 世話人は、会員の中から世話人会で推薦され選出される。

第4章 会費等

第7条 会費等

本会は、年会費、研究会参加費および寄付金その他をもって運営する。

なお会員は、一般会員、学生会員および賛助会員によって構成される。会員の年会費は、以下の通りとする。

一般会員：5000円 学生会員：2000円

賛助会員は下記のように2種類を設定する。

団体・組織：20000円 ②個人：10000円

賛助会員（団体・組織）は、1団体（施設）につき、3名までが会員と同様の特典を受けることができる。また登録会員名は随時変更可能とする

第5章 会則の変更

第8条 本会の会則の変更は、理事世話人会の承認を必要とする。

第6章 付則

第9条 事務局は、お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース水村研究室におく。

第10条 本会の会計年度は、毎年4月より翌年3月までとする。

第11条 本会則は平成29年4月1日より施行する。

日本ダンス医科学研究会 過去の大会プログラム構成

2010年第一回大会@国立スポーツ科学センター

- 基調講演1 「ダンサーが抱える健康問題」 蘆田ひろみ
- 基調講演2 「バレエの足関節および足部の傷害」 平石英一
- 実践報告「実践を通じたダンス医科学への提言～ダンサーからボディコンディショニングインストラクターの経験を通じて～」 橋本佳子、ダレン・ヒンドリー
- 学術報告「国際ダンス医科学会から学ぶ」 水村（久埜）真由美

2011年第二回大会@お茶の水女子大学

- 教育講演「スムーズに動くためのコンディショニング」 福井勉
- シンポジウム「ダンサーの怪我とその予防～さまざまな立場から～」
瀬尾理利子～整形外科医として～
水村真由美～体力科学研究者として～
小曾根史代～NPO法人として～
猪崎弥生～舞踊指導者として～

2012年第三回大会@お茶の水女子大学

- 教育講演 「ダンサーに多い外傷・障害」 北條達也
- シンポジウム「ダンサーのヘルスケアを支える」
中村千秋～アスレチックトレーニングの分野から～
川原万由子～理学療法の分野から～
岸昌代～栄養の分野から～
パネルディスカッション 「日本人ダンサーのヘルスケアの現状と課題」

2015年第六回大会（3月8日）@同志社大学

- 基調講演 「ダンサーの傷害を減らすために」北條達也
- 若手研究者のためのミニレクチャー
 - 1 「ストレッチについての最新知見」中村雅俊（同志社大）
 - 2 「ダンスにおける美と動作の関連について」佐藤菜穂子（名古屋学院大）
- 特別パフォーマンス タップダンス 華～puspa～
- シンポジウム 「専門医に聞くダンサーの下肢の傷害と治療」
 - 股関節：大原英嗣（
 - 足・足関節：生駒和也（奈良医科大学）
- 特別セッション：種々のダンスパフォーマンスと障害
 1. クラシックバレエ：有馬バレエ
 2. ダンススポーツ：鈴木真也・伊藤直美ペア
 3. チアダンス：同志社大学チアリーディング部エンジェルズ
 4. 男子新体操：花園大学男子新体操部

2016年第七回大会（3月6日）@昭和音楽大学

- 基調講演 「ダンサーの傷害を減らすために」水村（久埜）真由美
- 若手研究者のためのミニレクチャー
 - 1 「リズムダンスの運動制御」三浦哲都
 - 2 「ダンサーとトレーニング」平山邦夫
- 教育講演
 - 「ダンス傷害の特徴」平石英一「ダンサーのリハビリテーション」永岡結香
- 特別セッション：種々の芸術系運動での基礎練習とトレーニングを理解する